

# 新しい学校づくり 通信

令和4年3月発行 第3号  
(発行元 門真市教育委員会)



## 第2回 門真市第四中学校区新しい学校設立準備会を開催！

2月8日(火)にオンライン(Google Meet)にて、第2回の設立準備会を開催しました。前回に引き続き、「新校舎の建設場所や建設期間中の学校の運営」と「通学路」について、教育委員会が現在の案を説明したのち、参加委員の皆さんと意見交換を行いました。



### ① 新校舎の建設場所と建設期間中の学校運営

前回の設立準備会にて教育委員会より提示した、それぞれの案について、検討した経過を含め、改めて説明をしました。そして、教育委員会として右記のような理由から脇田小学校の敷地を活用して校舎等を建設する案(A案)を提示しました。また、この考え方に対して意見交換をおこないました。

#### 【案に対する教育委員会の考え方】

- 新校舎の開校前から小中の交流や連携を深める。(解体・建設中、脇田小の児童が砂子小に通学(R5.夏~))
- 新校舎を建てる時の設計の自由度が高い
- 新校舎建設中の安全面や教育活動への影響を少なくできる
- 工期や事業費を抑えられる

### 【意見交換】建設場所や建設中の子どもたちの学校生活について、ご意見ください。



開校までのスケジュールの兼ね合いだと思いますが、年度途中から同じ敷地で別々に過ごすことに違和感があります。もう少しよい方法はないでしょうか。

南小・水島小が砂子小に統合された1期生(6年生)を担当していたが、大変苦労した。ただ、徐々に子どもたちのつながりが深くなり、最後には、「先生、仲間が増えてよかった。ありがとう。」と言って卒業していった。統合してからでなく、今から砂子小と脇田小のつながりをしっかり作っていききたい。



脇田小の児童が来るのはよいが、例えば、空き教室といっても、現在、様々な用途で活用している。そのような点も教育委員会には調査していただきたい。

A案でいくなら、令和4~5年度でしっかりと小中の交流をしていきたい。



A案でいくとすると、開校後、四中が解体となる。その期間、四中敷地のグラウンド等を使うことはできるのでしょうか。

A案ですと、現状の四中のグラウンドはそのまま残ります。校舎は解体工事中の為、安全対策をしながらとなりますが、グラウンドの活用は可能です。



教育委員会

他にも多数の意見をいただきました。



## ② 建設期間中の通学路はどうなるの？



建設期間中の通学路についても話し合いました。交通専従員さんの追加配置や歩道の待機スペースの確保など、子どもたちの安心安全のため、他課と連携し様々な要望をしていきます。



一時期のことだとは思いますが、脇田小の児童の登下校を心配しています。今よりも遠くなる子もいると思う。開校後は逆に砂子小の児童が遠くなることもあるかもしれない。

交番前のスクランブル交差点、梅月温泉前の交差点などには安全に横断できるよう、交通専従員の配置を要望したり、歩道の待機スペースの確保を検討したり、信号の時間を変更できないか警察との協議を検討したりなど、今後も安全安心に通学できるよう様々な検討・要望をしていきます。



教育委員会



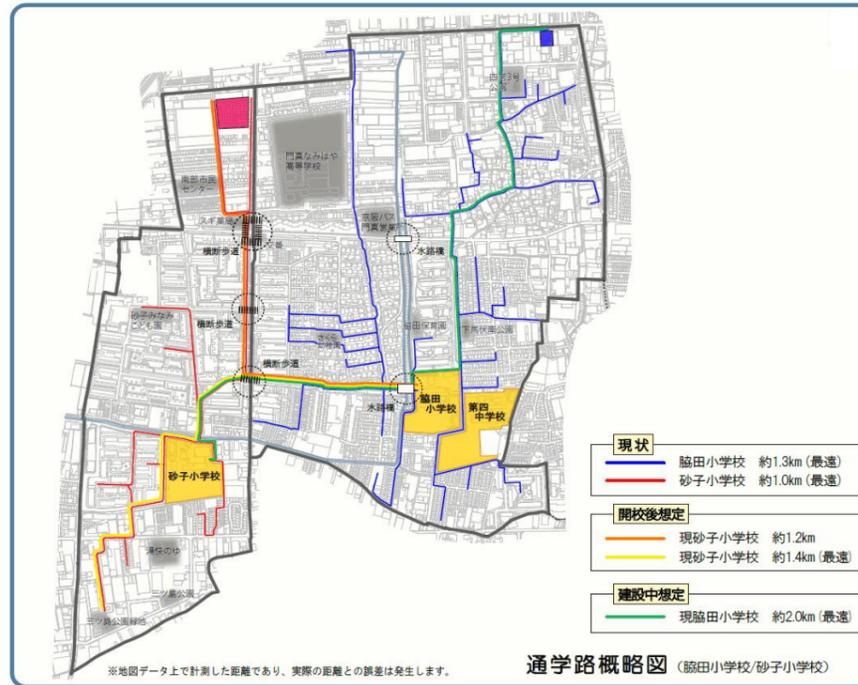
今、うちの子は7:50ごろ家を出ている。砂子小に行くことになっても、この時間を早めるのは厳しいと思う。たしかに遠くはなりますが、子どもたちが楽しく登校できれば、距離はあんまり感じないのでは。なので、距離がそこまで問題なのかなという認識もっている。

登下校に関しては、行きは集団登校で行くからいいけれど、帰りが心配です。



通学路以外も含め、とにかく子どものことを一番考えてほしい。また、すべてを大人だけで決めるのではなく、子どもから意見をもらう場もこれから設けていってほしい。

安全策の検討も含め、今後も引き続き意見交換を行っていきます。



## 今後の予定

次回の学校設立準備会は、令和4年5月ごろに開催予定です。

次回からの会議では、

- 通学路についての意見交換
  - 新しい学校の学校名などの決め方についての意見交換
- などを話し合う予定です。

## 担当・お問い合わせ先

門真市教育委員会事務局 教育企画課

電話：06-6902-5779 (直通)

メール：kyk02@city.kadoma.osaka.jp 【HPからもご覧いただけます】

